

呼吸器内科

1. はじめに

呼吸器系は生命維持に必要不可欠であり、感染症、アレルギー、腫瘍、循環障害など多彩な疾患が存在する分野です。これら呼吸器疾患の多くは疾患頻度の高い **common disease** であるため、臨床医には呼吸器疾患に対する幅広い知識が求められます。

また、呼吸器疾患は軽症例から重症例、急性期から慢性期まで多岐にわたり、入院症例のみならず、外来症例も含め臨床実習では多くの臨床症例を経験する必要があります。

4 週間で行われる呼吸器内科のアドバンスコースは、モデル・コア・カリキュラムに準拠したプログラムで、**クリニカル・クラークシップ**（診療参加型臨床実習）を導入し、効率よく実習を行うことを目指します。クリニカル・クラークシップの目的は、「**学生が実際の診療チームに参加し、チームの一員として診療業務を担当することによって、医師として基本的な知識・技能・態度を学ぶこと**」です。指導医、病棟担当医、研修医、学生からなる屋根瓦式の医療チームの中で自らの役割を理解し、**チームの一員として働くことができることを目標**にして下さい。

2. 呼吸器内科アドバンスコース到達目標

- 1) 担当の肺がん入院症例を日々診察し **SOAP** 形式でカルテが記載できる。
- 2) 担当の間質性肺炎入院症例を日々診察し **SOAP** 形式でカルテが記載できる。
- 3) **wheezes, fine crackles** および **coarse crackles** を聞き分けることができる。
- 4) 肺がん、間質性肺炎の典型的な胸部 X 線および胸部 CT 画像の読影ができる。
- 5) 病棟カンファレンスで受け持ち症例の 1 週間の経過をプレゼンテーションできる。
- 6) 気管支鏡検査の適応疾患や合併症が説明できる。
- 7) 気管支鏡検査の前処置や検査中の観察項目が説明できる。
- 8) 酸素療法の適応、観察項目が説明できる。

3. 実習内容

• 実習形態:

- 1) 個々の学生の希望に応じて、病棟実習・外来実習・院外実習を行います。
- 2) 個々の学生の態度・技能・知識の到達度に応じて対応します。

• 病棟実習:

- 1) 呼吸器内科で入院の多い2つの疾患（肺がん、間質性肺炎）を中心に担当します。
- 2) 更に機会があれば気管支喘息、**COPD**、肺炎症例などを担当します。
- 3) 学内実習での不足分は、院外実習ならびにミニレクチャーで補います。
- 4) 学生が診療チームの一員として積極的に患者の診療に参加し、診察、治療計画策定、

診療記録記載、カンファレンスでの症例プレゼンテーションなどを行います。

- 5) 学生個々の態度・技能・知識の到達度を考慮しチーム内での役割を与え、能力が向上すればより進んだ役割へと移行します。
- 6) 研修医セミナーなどのミニレクチャーや研究会にも積極的に参加して下さい。

- **外来実習：**

初診症例の病歴聴取を行い、必要な検査を立案します。

指導医の下で初診症例の診断に必要な検査、および検査結果の解釈を学びます。

- **学外臨床実習**

- 大学病院症例のみでは主要疾患が網羅できない可能性があるため、学外施設と協力して臨床実習を行います。
- 指導医のアドバイスを参考に、初診症例に対して問診を聴取します。指導医の診察を見学し、適切な問診が聴取出来ていたかを確認します。
- 学外施設に所属する臨床教授ならびに臨床准教授から実地医療の指導を受け、その医療機関の見学も行います。

- **評価**

- 学生の評価は以下のように行います。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
教授回診での患者提示	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	30点
学生用カルテの内容	30点

【実習スケジュール】

- 月曜日は 8:30 に医局医科診療医室 (中央研究棟 2 階 213) に集合 (白衣, 聴診器持参)

	午前 8:30-12:00	午後 13:30-17:00	夕方 (希望者のみ) 18:00-
月	症例カンファレンス 病棟回診 所属チーム決定 (初日)	病棟実習	ミニレクチャー 合同症例検討会 (呼吸器外科・病理と合同)
火	病棟または院外実習*	気管支鏡検査 呼吸器カンファレンス①	
水	病棟または院外実習*	病棟または外来実習	ミニレクチャー
木	気管支鏡検査	病棟または外来実習 呼吸器カンファレンス②	
金	病棟または院外実習*	病棟実習	ミニレクチャー

*院外実習の曜日は, 学外施設の受け入れ状況に従い変更の可能性あり.

●担当教官

服部 登 (教授) 濱田 泰伸 (保健学科教授) 藤高 一慶 (講師)
岩本 博志 (講師) 中島 拓 (助教) 宮本 真太郎 (医療安全管理部助教)
益田 武 (助教) 堀益 靖 (助教) 坂本 信二郎 (助教)
山口 覚博 (助教)

●担当教官 (学外施設)

徳永 豊 徳永呼吸睡眠クリニック (臨床教授)
西野 亮平 吉島病院 内科医長 (臨床教授)
大成 洋二郎 マツダ病院 呼吸器内科主任部長 (臨床教授)

6. 各病院連絡先:

- ・徳永呼吸睡眠クリニック: 〒730-0016 広島市中区鞆町 13-4 (TEL: 082-211-1159)
- ・吉島病院: 〒730-0822 広島市中区吉島東 3-2-33 (TEL: 082-241-2167)
- ・マツダ病院: 〒735-8585 広島県安芸郡府中町青崎南 2-15 (TEL: 082-565-5000)

緊急連絡先:

広島大学 分子内科学 (第二内科) 中島 拓 (TEL: 082-257-5196, PHS 3577)